

令和5年度第三者評価 改善状況報告書

令和6年3月31日

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷（通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区港南3-3-23	指定管理者	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部東京都済生会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和6年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和6年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
事業計画や運営指針の検討に職員が参画し、ボトムアップ方式で取り組んでいる。職員の企画・提案内容について、各種委員会や行事・理念研修等でも議論・検討を重ねている。一方、職員の育成については、職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の年間人材育成計画や、職員研修委員会での研修計画策定を通して計画的に進めているが、非常勤職員の構成比率も高くなってきており、より一層の検討が望まれる。非常勤職員を含めた職員一人ひとりの意欲向上や、育成の取り組みをさらに充実させていくことが望ましい。		職員の育成、意欲向上については、指摘内容に記載されている通り、長期的な視野にたって意欲的に取り組んでいる。非常勤職員についても、新任研修にも参加してもらい、施設の方針等を説明した。	職員の意欲向上については、ICTによる労働負担軽減による労働環境の改善、介護保険制度における処遇改善加算、東京都の処遇改善加算等を積極的に活用した賃金の改定に取り組む。（賃金の改定については、非常勤職員も同様）	非常勤職員を含めた全職員の意欲がさらに向上するよう、ICTを活用した事務作業の改善や賃金の改定などの取り組みを指導していく。合わせて、育成メニューの充実についても指導していく。
目標稼働率に対し、稼働率が下回っている。原因として、ショートステイ利用による休みや入院に伴う利用中止の増加、特別養護老人ホームへの入所による利用終了等が挙げられる。医療ニーズのある利用者や入浴希望のある方の受け入れを積極的に行っているが、地域周辺は若い世代が多く、芝浦港南地区の高齢化率が区内で最も低い現状がある。新規利用者獲得のために、地域の居宅介護支援事業所や介護支援専門員等に積極的に働きかけを行っていくことが望ましい。		指摘事項にある通り、様々な要望を持つ利用者を積極的に受入、地域の居宅介護支援事業所や介護支援専門員等に積極的に働きかけを行ったが、現状、稼働率の向上には結びついていない。	今後も入浴希望の利用者、医療ニーズのある利用者等を積極的に受入、稼働率の向上に努める。	新規利用者獲得のために、地域の居宅介護支援事業所や介護支援専門員等に積極的に働きかけを行っていくよう指導していく。
事業所では、①職員ミーティング時、②サービス利用状況報告書の作成時、③通所介護計画書の見直しを行う際に、利用者の状態の推移を振り返る機会を設けている。計画書の見直しを行う際、看護師には照会でコメントをもらい、介護職員や理学療法士、相談員等多職種で集まり、振り返りを行っている。その話し合いを記録し、計画書のサービス内容に反映している。こうした取り組みを今後、全利用者を対象に行っていきたいと考えている。継続して実施することで、さらなる支援の充実につなげていくことが望ましい。		全利用者に対して指摘事項にある取組を実施できるように徐々に対象者を増やした。	今後も全利用者のサービス内容に取り組み内容を反映できるように努める。	全利用者に、通所介護計画書やサービス内容の取り組み内容を反映できるように指導していく。